

心音がドクドクと

新座市立東北小6年

椎木 花音 12 (新座市)

「がんばってきてね」

試験当日。母の声が背中から聞こえてくる。私はふるえる手をギュッと握りしめ、いつものそろばん試験場へと向かった。

その場につくと、ぴりぴりとした空気が漂っていた。心臓がさわがしくなり、心音がドクドクととなりの席の人に聞こえてしまいうくらいに鳴っていた。

「では、始めます。用意、はじめ！」

先生の大きくて迫力のある声が試験場にひびいた。その声と同時にみんなが手を動かす。いつもだったら気にならないそろばんを弾く音がとても気になる。終わったのと同じに私は体がとけてしまいうくらい安心した。

私はこれからも努力の成果を発揮し、結果を残していきたい。